

eスポーツに本気でチャレンジ プロと戦えるチームを目指す

大阪デリバリー

大阪デリバリー（大阪市）は、物流から倉庫保管サービス、人材派遣まで行う企業。同社はeスポーツチーム「Team OE」を立ち上げ、企業eスポーツ大会はもちろん、プロも参加する大会にも出場している。一見するとeスポーツとは関りのない企業が、なぜeスポーツチームを設立したのか、そしてその見据える先とは。

創業から43年を迎えた大阪デリバリーは、関西を中心に関東、東海に拠点を展開。主に大手量販店やコンビニエンスストア、アパレルブランドチェーン店などの倉庫の管理を請け負い、入荷から検品、加工、出荷まで行う物流のプロだ。このほか、一般作業から事務管理業務、専門作業といった、さまざまな物流業務に精通したスタッフを派遣する人材派遣事業も行っている。

eスポーツとは関わりのない企業



木田副社長

が、なぜeスポーツチームを立ち上げたのか。取締役副社長を務める木田晴孝氏、「Team OE」のキャプテンを務める齋藤達朗さんにチーム創設の経緯や今後の目標を聞いた。

「20年以上ゲームを続けていて、有名なプロチームの方と一緒にゲームをプレイしていた時期もありました。自分でプロチームを創りたいと思うようになり、実際にスポンサーを探したりしていたのですが、現実には厳しく諦めてしまいました。転勤を機に木田副社長が気にかけてくださり、ゲームについて語ってしまいうこともありました」と齋藤さんは話す。

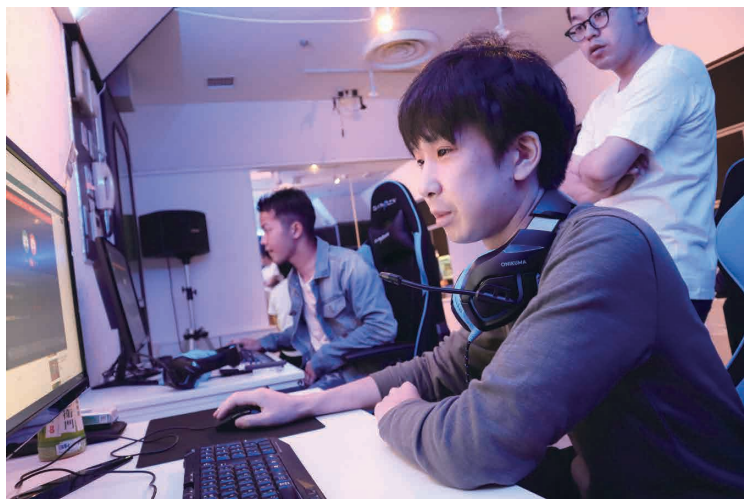
木田氏は「その当時、私はゲームについて詳しくなかったので彼に話を聞くと、ゲームに対する情熱や本気度が伝わってきました。プロチームを創りたかったという想いも聞いて、会社を支

えてくれている社員の夢を叶えてあげたいと思い、『Team OE』を創りました」とチーム設立までの経緯を振り返った。

2019年の秋頃にチームを設立。大阪デリバリーの特徴の一つとして運営すべく、ブランディングやリクルーティングに活かせるような体制を整えた。SNSの活用や企業大会への参加で知名度が上がり取材を受ける頻度が増え、高卒者を中心に行っている採用活動では内定者が右肩上がりに増えてきている。

チームの活動は毎週金曜日。この日だけは現場ではなく、チームとしての活動のみを行う。主にFPSゲームをプレイしているが、FPS初心者のメンバーがほとんど。キャプテンの齋藤さんを中心に戦術や連携、エイム練習をしている。驚くべきはこのチーム練習の日に給料が支払われているところだ。

木田氏は「私たちは本気で世界を取りに行けるようなチームを目指しています。やるからには大きな目標を持ってチャレンジしていきたい。実業団の様に全社員が現場で得た利益をチームの活動費に充てているので、その想いを胸に本気で練習に励んでもらっています」



「Team OE」のキャプテンを務める齋藤さん

ます。初心者の社員も、ある程度戦えるくらいまで成長してきました。時間はかかるかもしれませんが、プロチームに引けを取らないチームになってほしいですね」と話す。

最後にキャプテンを務める齋藤さんに今後の目標を聞いてみた。

「『AFTEER 6 LEAGUE』など、同じような環境のチームが集まる企業対抗戦で負けると本当に悔しい。プロチームを倒すという高い目標を超えるにも、早くこのチームでタイトルを獲得したいですね」

【A】